

え る の あ

目次	報告 ケアメン入門講座…………… 1	超高齢社会と男女平等参画…………… 3
	女性プラザって?…………… 2	インフォメーション…………… 4

報告 ケアメン入門講座

ケアメンとは親や妻を介護する男性のことですが、この講座は、高齢化社会が進む中、今まで家事や介護は女性の役割としていた男性が、妻や親の介護を担わなければならない現状を踏まえ、女性プラザが初めて行った男性向け介護入門講座です。

初めに、社会福祉士で「北海道男性介護者と支援者のつどい」副代表の大島康雄さんから「男性介護の現状と介護保険制度について」講話をしていただきました。

「日本の高齢化率は世界一で介護は長期化し、子どもの同居率は低下、在宅介護者の3人に1人は男性となっている。男性介護者の特性として、女性より介護サービスを上手に利用したり、力もあるので、介護を短時間でこなすことができる。また、虐待の世代間連鎖が女性より低いという良い面はあるが、反面、掃除や家事などのスキルに乏しく、認知症などへのストレスを感じやすい。在宅介護者の3分の1にも関わらず、介護殺人の8割が男性である現状は、とても悲しいこと。男性は悩みを内在化しやすく、助けを求めることができない。「北海道男性介護者と支援者のつどい」は定期的に集まり、情報交換できる場所やネットワークをつくっている。」などの話のあと、介護保険について、認定を受けるまでの流れなどを話していただきました。

続いて、福祉用具の展示・紹介では、合同会社グリーンケア札幌のスタッフにご協力をいただき、車いすに変形する歩行器、ベッド、手すり、機能回復に役立つ車いすなどの最新式の福祉用具の紹介をしていただきました。

最後に、理学療法士の鈴木英樹さんには福祉用具を使った簡単介護技術講習で、ボディメカニズムを踏まえた実技講習をしていただきました。ベッド上での移動・寝返り、起き上がり、立ち上がりなど、男性が介護をする場合、力任せにしてしまうと早くできますが、介護される方にとっては余分な緊張や不安・力みを生じます。鈴木先生が指導される方法は、介護者もそして介護される方もとても自然に動作ができ、参加された皆さんから大変好評をいただきました。

以下は参加者のアンケートからの抜粋です。

妻から60年間、1日3食料理してもらいながら、あたりまえのことと考えていた。しかし、妻が寝たきりになり、自分で何も料理ができず、妻も私のまずい料理に口をつけなくなり、愕然とした。最後は娘に来てもらって助けてもらった。  
一番不安な事は、気軽に何でも相談し、悩みを打ち明けられる人がいないこと。(82歳 男性)



鈴木英樹さんに介護技術講習を受ける参加者

発行 / 北海道立女性プラザ (指定管理者: 公益財団法人北海道女性協会)  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 6階 (011)251-6329・6349  
【ホームページアドレス】 <http://www.l-north.jp/>  
(休館日: 日曜・祝日・年末年始) (開館時間: 月~金9:00~21:00, 土9:00~17:00) \*お問い合わせは9:00~17:00をお願いします。



# 女性プラザって？ 個人やグループで自由に学び・創り・出会い・語らう "ひろば"です。もちろん男性もご利用できます。

北海道庁のご近所、西に北大植物園、東に道警本部に挟まれた道民活動センターこと「かでの2・7」の6階のフロアが北海道立女性プラザ。

ここは女性の自立と社会参加を促進するとともに、男女平等参画を推進するためのキーステーションです。

今回は、女性プラザと指定管理者である公益財団法人北海道女性協会が、今年度行う事業についてご紹介します。

## ◎大きく2つのエリア

### 交流フロア

個人でもグループでも、自由に気軽に使っていただける、ふれ合い交流の場です。

- ・交流フロア内に、グループの打合せに使えるミーティングスペース、絵画発表などができる展示コーナーがあります。
- ・ミーティングスペースは、5人以上12人までのグループの会議スペースです。3時間以内のご利用で、A・Bの2か所あり、Aは当日分を電話予約できます。

### 情報提供フロア

図書・映像情報等、女性や男女平等参画に関するさまざまな情報を提供しています。

- ・図書や資料は、フロア内で自由に読むことができます。
- ・図書は利用者カードをお作りいただくと、1人1回2冊まで、2週間以内で借りることができます。
- ・ビデオやDVDは、ブースで視聴できます。また、団体・企業等の学習会・研修会等のご利用には貸出いたします。遠方の場合等は送料着払いでお送りします。
- ・男女平等参画に関するパネルを貸出いたします。地域での啓発活動などにご利用ください。
- ・インターネットを利用して、男女平等参画に関する情報を検索できます。パソコンのご利用は、利用者カードをお作りいただいた上、受付にお申し込みください。

### 情報制作室

- ・女性団体の会報作りや男女平等参画に関するチラシ作りにご利用いただけるよう、印刷機・コピー機などが揃っています。

### ピックアップ事業紹介

#### 女性のための相談室 法律相談

- ・離婚、DV、セクシュアル・ハラスメントなどの様々な法律に関する女性の悩みに女性の弁護士が面接相談で応じます。相談日は毎月第2・第4水曜日及び奇数月の第3水曜日（一人30分）無料・予約制（相談日の1ヶ月前から受付開始）

## 年間イベントラインナップ

4月	えるのすNo.43 発行
5月	第1期女性大学 5/28～8/6
6月	男女共同参画週間講演会 6/25 女のスペース・おん代表理事 山崎菊乃さんによる講演
7月	カルチャーナイト 7/19
9月	第2期女性大学 9/24～12/3
11月	女性プラザ祭2013 11/11～16 講演会、女も男もワイワイセッション 11/14 DVD上映会、お茶会、バザーなど メイン事業の開催
1月	えるのすNo.44 発行
3月	男性参画講座



オープニングコンサート

写真は昨年度の様子です。

## 女性プラザサポーター登録団体募集

女性プラザでは、男女平等参画に関する様々な情報を双方向で交換する場の提供と全道的なネットワークの形成をめざして、道内で男女平等参画の推進に関する活動を行っている団体に、サポーター登録をさせていただいております。

- 登録された団体は
- ・女性プラザホームページ上で活動内容や開催事業を紹介することができます。
  - ・北海道立女性プラザだより「えるのす」や女性協会の事業案内、また北海道の男女平等参画に関する情報などもダイレクトにお届けします。
  - ・年6回サポーター通信をお届けします。
  - ・女性プラザ祭2013にて活動報告ができます。

\*登録を希望される団体はお問い合わせください。

## 超高齢社会と男女平等参画

北海道立女性プラザ

館長 笹谷 春美



日本は超高齢社会に突入している。超高齢社会とは、単なる高齢者人口の割合の増加に加えて、75歳以上の後期高齢者の割合が65～74歳の前期高齢者の割合を上回る社会である。介護や年金、日常生活あるいは災害時などにハイリスクを抱える人々の増加である。若者にとっては社会の“お荷物”、“厄介者”が増えると捉えられても仕方がない。だが、人間は誰も老いる。多少の厄介はお互い様と許容しあわなければなるまい。高齢者だって、社会や周囲に世話をかけずできうる限り自立して暮らし、さらには社会に何らかの役に立ちたいと考えている人も多い。しかし、実際は厳しい現実がある。高齢期の生活には階層格差や健康格差、そして男女格差などさまざまな格差の壁が立ちだかる。しかもそれらは相互に関連しているのだ。近藤克則氏は「所得の格差」が「いのちの格差」まで生むということを膨大なデータで証明している（注：近藤克則『「健康格差社会」を生き抜く』（朝日新書、2010））。

このような格差はもろに高齢期の女性のリスクに反映される。そもそも後期高齢者層は平均寿命が長い女性が多く、従って要介護者も多い。心身の問題に加え、経済問題が加わる（図）。とりわけ一人暮らしの高齢女性の場合は半数近くが貧困層である。

昔から高齢者問題は女性問題である、と言われてきた。人生80年代時代では、現役時代の暮らしのありようが、高齢期の暮らしの明暗を分ける。現役時代の男女平等参画が進んでいなければ、当然女性の人生の終末期はハイリスクを抱える割合が高い。

国の男女共同参画政策といえば、若い人々の就労や結婚・子育ての両立支援が中心的課題であるが、もっと人々の全生涯のライフサイクルを見据えた対策が必要であろう。しかし、超高齢社会の進展が避けられない現実であるなら、現役時代の男女平等政策が基盤であることはもっと重要である。この4月に認可保育園に入れなかった東京のママさんたちがやむにやまれず行政に対し定員増の請願行動注1に立ち上がった。この動きは他の都市にもひろがりつつある。待機児童ゼロ作戦などのメニューは90年代の初頭から少子化対策の目玉として策定されていたのにも関わらず、行政は本腰を入れてこなかった。その結果、今日でも、第1子を出産後の女性の6割が仕事をやめざるを得ない状況が続いている。彼女たちの再就職は非正規市場であり、老後の経済生活をより不安なものにする。これは、国際社会からみれば、「ガラパゴス日本」！注2である。それでも正規雇用の夫がいれば生活は保障され、老後一人になっても遺族年金の支給がある。しかし、90年代以降、男性の非正規雇用化も進み、男女格差のみならず男男格差も拡大する中、未婚化、晩婚化が急速に進展している。もはや、男性は学卒後正規労働者となり結婚して子育てや親の面倒は妻が看るといった伝統的性別役割分業家族はマイナーとなっている。問題はそれにも関わらず、このような家族のあり方とそれを前提とした社会保障制度や介護制度にある。

135か国中101位という日本のジェンダーギャップ指数（世界経済フォーラム、2012年度）は各方面にショックを与えている。先進国でも最低であり、とりわけ政治・経済領域における男女平等の遅れは国連機関からの勧告を受けるほどである。

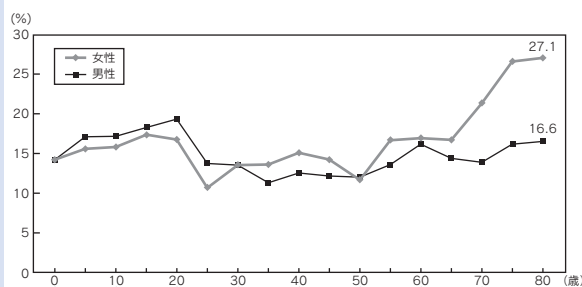
今、日本はグローバル経済にどっぷりと組み込まれ、内外の競争がより激しくなることが予想される。若い層の経済的状況が厳しくなり格差がより大きくなれば、高齢者への眼差しもきつくなるかもしれない。こんな時こそ、全ての人の人生において、暮らしと人権が守られる男女平等参画の実現が急がれる。市場から退出した高齢者は、それぞれの身近な地域社会でそれを実現することに貢献しよう。これは次世代のためだけではなく、自らの孤立防止と介護予防にもつながる1石3鳥の生き方としてお勧めである。

注1：意義申し立てと審査請求もおこしている。

注2：周囲との交流が途絶えた結果、特別な種のみが残ったガラパゴス諸島のような状態といえる日本のこと。

参考：北海道は男女平等参画条例を施行しています。

男女別・年齢階層別相対的貧困率（平成22年）



（備考）厚生労働省「国民生活基礎調査」（平成22年）を基に、内閣府男女共同参画局「生活困難を抱える男女に関する検討会」調査委員の特別集計より作成。

（出典「男女共同参画白書」平成24年版）



# インフォメーション

## 男女共同参画週間講演会

男女共同参画週間（毎年6月23日～29日の一週間）とは、男女が互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の形成に向け、男女共同参画基本法の目的及び基本理念の理解を深めるための週間として、国の男女共同参画推進本部が主唱しており、この週間を記念し女性プラザでも、次のとおり講演会を行います。



日時 平成25年6月25日(火)  
10:00～12:00  
会場 かでる2・7  
4階 大会議室  
参加料 無料  
定員 200名

講師 NPO法人 女のスペース・おん  
代表理事 山崎 菊乃さん  
演題 「DV被害における現場の実情」

～関係機関の連携～

\* 参加を希望される方は、6月1日からお電話での受付を開始します。

女性プラザ交流フロアにて男女共同参画パネル展を期間中開催します。

## えるのす参画講演会(地域開催)共催団体募集

女性協会では、男女平等参画についての講演会を道内5箇所で開催することとし、この事業を共催する団体を募集しています。

\* 詳しくは女性プラザのホームページをご覧ください。お電話でお問い合わせください。

＝募集対象地域＝

檜山・上川・胆振・日高・十勝・根室・オホーツク

締切：平成25年5月15日(水)

## 女性プラザにて配布中



### 平成24年度 地域学習会のまとめ

発行：平成25年3月  
公益財団法人北海道女性協会

昨年度北海道から委託を受け道内2カ所で開催した地域学習会の講演内容をまとめたものです。

入手を希望される方は、送付します。冊数に限りがありますので、お早めにご連絡ください。

## ボランティア募集!

### ○女性プラザボランティア

女性プラザ情報提供フロアで、利用者のサポートをしていただくボランティアです。男女平等参画に関心があり、原則として週1回以上の活動ができる方を募集しています。

登録される方には基礎研修を受けていただきます。

(活動内容)

- ・ 情報提供に関するサポート
- ・ 情報の整理に関するサポート
- ・ パソコン利用に関するサポート

### ○ボランティアビューローコスモス

女性プラザを拠点として、主に社会福祉施設で衣類補修や洗濯物たたみなどのお手伝いを行うボランティアです。道内にお住まいの女性の方の登録制で、一緒に活動していただける方を随時募集しています。その他、女性プラザ祭ではバザーの開催や、女性大学の託児の支援、年1回の交流会なども行っております。

\* 詳細については、以下の開設日にお電話でお問い合わせください。



お問い合わせ先 ボランティアビューローコスモス  
TEL011-251-6349  
毎週火曜日 10:00～15:00

### ● 日本女性会議2013あなん

「日本女性会議」は、男女共同参画社会の実現に向けた課題の解決策を探るとともに、参加者相互の交流促進やネットワーク化を図ることを目的とした全国規模の会議です。

開催日程 10月11日(金) 分科会、交流懇親会  
10月12日(土) 全体会(開会式、基調講演、記念講演)  
30周年記念特別  
シンポジウム ほか

10月13日(日) エクスカーション(体験観光等)  
開催場所 阿南市スポーツ総合センター  
(徳島県阿南市七見町下川田100番地)

主催 日本女性会議(男女共同参画)  
2013あなん大会実行委員会・阿南市

詳細 オフィシャルホームページ  
<http://www.jwc2013anan.com/>

- 「えるのす」「道立女性プラザ」に対するご意見、ご感想、ご要望などをお寄せください。
- 「えるのす」は女性(Lady)の頭文字と北(North)の造語です。